

ほたるぐさ (原調)

門倉さとし 詞
神野 和博 曲

5

9

13

17

ゆっくり

1 朝のつゆを
ひとつの花にひとつづつ
あい色の小さな空を
染めているのですか
夏のほたるが かえっていった
おなじほそい川の流るるに
はり絵のような季節をうつし

2 朝の風に
うすいむねをふくらませ
澄んだ目にいつまでだれを
待っているのですか
ほんの短いのちの時と
りんりんと鳴く虫の声を
切り絵のような季節に切って

ひっそりひっそり ほたるく